

市民公開シンポジウム

環境中の内分泌かく乱化学物質を探索するための新たなアプローチ

2016年9月27日 (火)

開演 13:30 (開場 13:00)

江戸東京博物館 1階会議室

東京都墨田区横網1-4-1

参加費
無料
(定員120名)

13:30-13:40

開会挨拶・趣旨説明 国立環境研究所 中島 大介

13:40-14:10

環境中の様々な内分泌かく乱作用の探索
—受容体導入酵母アッセイ法による試み—

国立環境研究所 白石 不二雄

14:10-14:30

化学物質の内分泌かく乱作用に対する
環境省の対応 —EXTEND2016—

環境省 山崎 邦彦

14:30-14:50

世界における内分泌かく乱化学物質研究の動向

国立環境研究所 中山 祥嗣

14:50-15:20

河川水の内分泌かく乱作用の調査と
動物影響の実験的探索

北里大学 鎌田 亮

15:20-15:50

内分泌かく乱作用を示す未知化学物質の検索

岩手大学 寺崎 正紀

15:50-16:20

【環境研究総合推進費5-1552紹介】

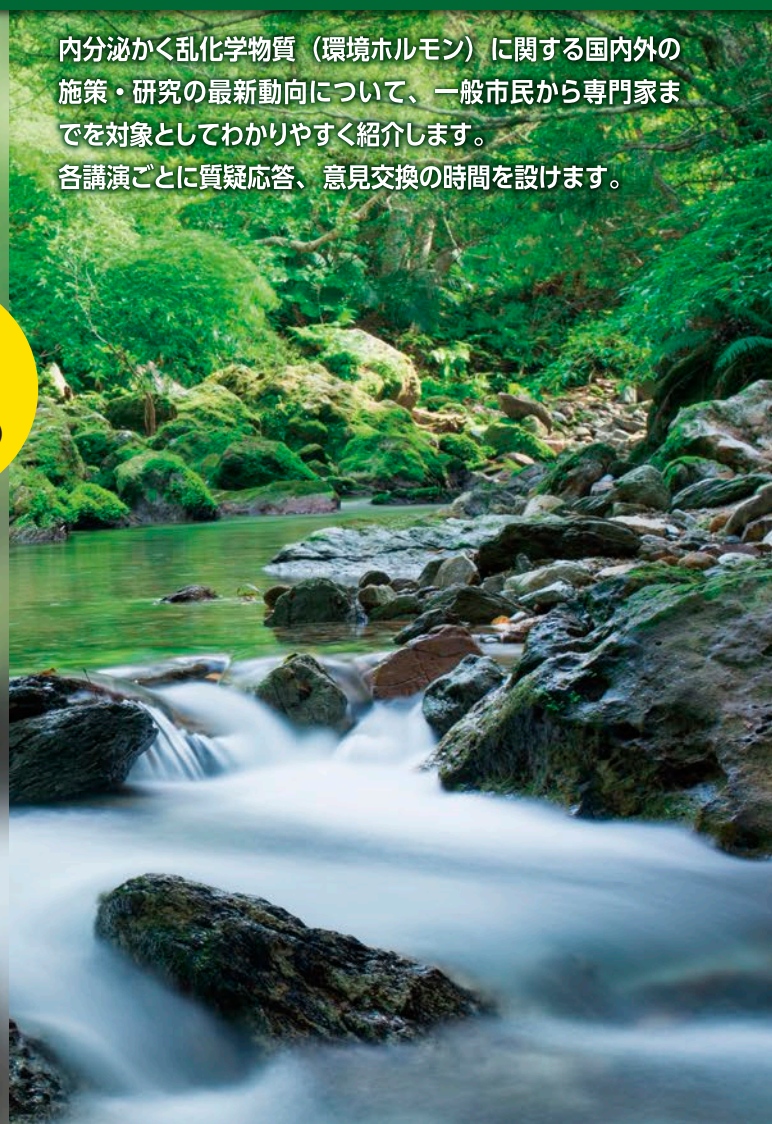
環境中のエストロゲン様物質を探索するための
新たなアプローチ

国立環境研究所 中島 大介/京都大学 久保 拓也

16:20-16:30

まとめ・閉会挨拶

内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）に関する国内外の
施策・研究の最新動向について、一般市民から専門家ま
でを対象としてわかりやすく紹介します。
各講演ごとに質疑応答、意見交換の時間を設けます。



JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分、東口下車 徒歩7分
都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前）A3・A4出口 徒歩1分

■お申し込み・お問い合わせ

国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 曝露影響計測研究室 Tel. 029-850-2186 (担当: 中島・大地)

sympo1552@nies.gov.jp へ「氏名」〔ある場合は〕所属〕を記載の上、メールにてお申し込みください。定員に達し次第締め切ります。

主催：国立環境研究所

